

【確認問題①－5】解答

算数 ともなって変わる2つの数量	5年 組 名前
------------------	---------

問 一 周りの長さが20cmの長方形の、横の長さとなての長さの関係を考えましょう。

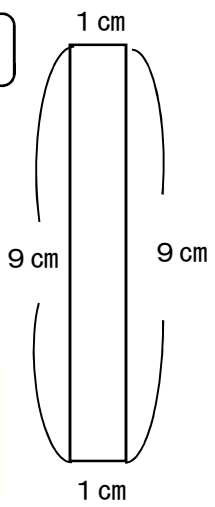
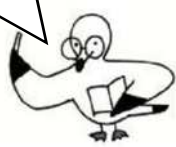
(1) たての長さを表に整理しましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	...
たての長さ (cm)	9	8	7	6	...

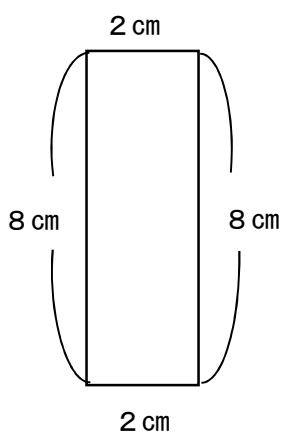
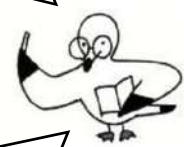
横 1 cm, たて 9 cm

横 2 cm, たて 8 cm

横は1cmが2本, たても2本あるから, 式は
 $(20 - 1 \times 2) \div 2 = 9$
 となるよ。



横が2cmになったらどうなるだろう。



$(20 - \bigcirc \times 2) \div 2 = \triangle$ で計算していくと,
 横が3cmのときは, $(20 - 3 \times 2) \div 2 = 7$ から横は7cm,
 横が4cmのときは, $(20 - 4 \times 2) \div 2 = 6$ から横は6cmとなるよ。

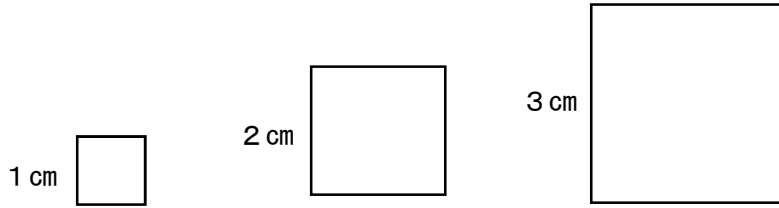
(2) 横の長さを○cm, たての長さを△cm とするとき, ○と△の関係を式に表しましょう。

【式】 $\bigcirc + \triangle = 10$

表を見てみよう。横となての和は10cmになっているね。



問 二 下の図のように、正方形の1辺の長さを変えていきます。



(1) 1辺の長さと言りの長さの関係を表に表しましょう。

1辺の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6
周りの長さ (cm)	4	8	12	16	20	24

(2) 1辺の長さを○cm、周りの長さを△cmとして、式に表しましょう。

【式】 $\bigcirc \times 4 = \triangle$

正方形の周りの長さは
どうなっているだろう。



(3) 周りの長さが60cmになるのは、1辺の長さが何cmのときでしょうか。

【式】 $60 \div 4 = 15$

正方形の周りの長さ = 1辺の長さ \times 4だから、
1辺の長さ = 正方形の周りの長さ \div 4となるよ。
 $\bigcirc \times 4 = 60$ だから、
 $\bigcirc = 60 \div 4$ を計算して、
 $\bigcirc = 15$ となるよ。

【答え】 15 cm

